

令和6年度 八千代町総合教育会議 議事録

【日 時】令和7年1月30日（木）午後3時～午後4時10分

【会 場】八千代町役場 町長室

【出席者】

（構成員）野村町長、関教育長、染野教育長職務代理者、赤荻教育委員、谷中教育委員
（事務局）馬場秘書公室長 小林教育部長 市村秘書課長 関学校教育課長
大里補佐兼係長 坂本係長

【議事内容】

1. 開 会

- ・午後3時 馬場秘書公室長、開会を宣言する。

2. 挨 拶

- ・野村町長
- ・関教育長

3. 協議事項

（1）八千代町学校の適正規模・適正配置等に関する方針（案）について

町長

八千代町学校の適正規模・適正配置等に関する方針（案）について委員の皆様の方からですね、率直なご意見等お聞かせいただければと思います。

染野教育委員

今回、2校とも新設統合、対等に統合することは非常に大事だと思う。小中一貫校教育を推進していくのに、施設一体あるいは施設隣接型になり、両方に1人の校長がいる、小学校に1人、中学校に1人の校長という形態を取っていく小学校新設、新校舎建設っていうのが良いと思いました。

あと跡地の問題でしょう、その後どうするのかっていう。本当に十分検討していかないといけないと思いました。今日、茨城新聞に笠間の廃校利用が1年で撤退してしまったという記事が出ていました。この跡地の問題についても、同時に検討していかないとはいけません。

赤荻教育委員

私もまだ小さな子もいますし、小学生もいますので、本当にこの意見に大賛成で、早く実現して欲しい。今の幼稚園生が小学校6年生になって、やっと1年通

えるかなって、とこなので。保護者の立場から考えれば、中結城は2クラスあるのでまだいいけれど、他は1クラスになってしまう。本当に小学校は早くやっていただきたいっていう思いがあります。

谷中教育委員

今までの経緯を見ましても、慎重に2年間調査をして、大学の先生も含めてですね、色々検討されてきましたので、非常に根拠に基づいてなぜ今統合しなきゃならないのかっていうのは非常に分かりやすい。多分これは町民誰しもが反対するところではないと思います。規模それから統合の仕方等についても、ほぼこれしかないのではないかなと私も思います。

あとは統合した後の形態ですけども、義務教育学校っていう形ではなくて、いわゆる統合された小中一貫校、と言う形を取るということなんですが、これは方法論的に色々考えられるかと思うんですが、義務教育学校と統合された小中一貫校の違い。これらもよく吟味されていますので、相互の連携を図ったり、人事交流とかそういったもの考えると、一貫校の方が、色々幅ができるのかなという風に思います。人員は管理職が増えますけども、色々相談もできるし、良いと思います。

統合型の小中一貫校の場合、前に視察で東京に行ったんですが、そこは予算の関係で箱物をそのままにして、学区内の小中学校が一貫校っていう形で連携するパターンでした。先生方にその時にお伺いしたのは、連携する時の、行ったり来たりとか相談に関わる時間や手間が非常にかかっている。それを訴えてらっしゃいました。

案のように同一敷地か隣接敷地で、行ったり来たりが自由にできて、例えば教員間でも、小学校中学校の融通が利くように、授業も小学校行って中学校行って授業ができるぐらいの距離で設置していただけると、非常に密接な連携が図れるかと思うんですね。

あと通学に関しては、他の地域を見ますと、通学距離が長い場合にはスクールバス等で保証していく形になってますが、その場合でも敷地が一緒の方が運用上非常に便利なのかなって思います。

あと他の委員さんからもあったように、空きになった小学校5校の校舎や東中の校舎。そういった物の活用については、学校云々というよりも、行政の今後の見通し、要するにこれは八千代町の総合計画にも関わることだと思うんですが、地域一体になって、活用を色々模索していく必要があるのかなという風に思います。小学校の5校については少なくとも6年の猶予があるので、その間に国の状況、情勢であるとか、そういったものも踏まえながら、国の助成を引っ張ってこられるかっていうのもあると思います。単に教育関係の助成だけではなくて、防災関係であるとか福祉関係であるとかっていうものもそういうところに投入できれば、非常にこう能率的っていうかですね、町としても負担が少なく移行できる

かなと思います。

町長

ありがとうございます。貴重なご意見をいただきました。統合するにも大変な課題が残っているという風に思いますね。学校の敷地にしても、跡地利用にしてもそうですし、そしてまた、地域の住民の感情って言いますかね、そういうものも、いざこれから準備委員会等が始まると出てくる。総論賛成、各論反対となることは間違いないです。

関教育長

私の思いとしては人口が少なくなるからという言う事より、子どもたちにどういう教育をすればいいのか、という事で町長とも何度も意見交換させていただいて、「逞しく、しなやかな、そして応用力がある子。」っていう事を考えると、やっぱり小中一貫にしていかなきゃならない。そこに子どもたちの人口を考えていくと、もうこれは立ち行かないところもあって、10人未満で「しなやかな、たくましい子ども育てよう。」ってなかなか難しい。そこで対等に合併していく流れだと思います。

また委員さんからあったように、跡地はやっぱり住民の感情に配慮する必要があるのかなと思います。防災の拠点等の話もありましたけれども、そういうのを見据えながら、あと6年があるので、学校の跡地利用を考えていかないとならない。

野村町長

私も考えていることは皆さんと大体同じです。私は行政を預かっているので八千代町っていうのは単独で、どのくらい生き残れるのかっていうのを考えるわけです。人口2万1千人ですが、実質日本人の人口は1万8500人ぐらいだと思います。外国人が2千人いるので、2万台を確保しています。この間の二十歳のつどいは222人でした。これから数年後の1学年、80人の時代がもう来るわけがあります。そして、福祉、財源の問題、色々考えると、八千代町はいつまで単独で生きられるのかっていう大きな問題が出てくる。

私は、今のままの政治が続くのであれば、東京一極集中はどんどん進むだけ、東京一極是正って言えば言うほど東京に集まるんですよ、人って。そして一番カモになりやすいのが茨城、埼玉、千葉、神奈川ですよ。人口問題研究所がきちんと発表してるわけです。

地域が、例えば八千代町が人口を増やそう、下妻市が増やそうなんて言ったら、問題はそんな小さい話じゃなくて、地方対東京の話なんですよ。最後は東京総取りですよ、今のままでいけば。

そういう中で、私は合併するなら20万人超えっていう風に考えています。合併

して5万人ぐらいになったって、何の権限ももらえなくて何で今やるんだっていう話ですよ。やっぱり10万超える20万超えるって、その大きさによって国から与えられる権限が違うんですよ。市には与えられた権限が町村にはない。私は合併するならば間違いなく10万人以上っていう考えが、個人としてはそういうものはあります。今後その時代を迎えた時、これは先に走りすぎたような考えかもしれませんが、教育環境きちんと作っておく、これは重要な話であると思う。

今の時点で統廃合を考える事は、子どもたちにいいし、八千代町にとってもいいし、教育環境作りにもいいし、将来を見渡してもこれはいいという風に私は思っています。

おそらく学校の名前なんかで揉めるんだろうな、というものもあります。まずは町民の皆さんに、この案を出すにあたっては、10年4月スタートというこの期日を入れたのが大きいと思います。これを入れたことによってもう進むっていう形になりますから、この期日は絶対外せないと言うわけなんです。皆さんが納得してくれればもう嫌でもここに向かって進む。私としてはもっと早くっていう思いもありましたが、先生の関係とか施設との関係とか、あるいは合意形成の関係で見ますと、この程度の期間は必要であろうなと思います。

そして、先ほど委員さんから出ましたが、なぜ教育施設を近くに置くのかと言えば、管理しやすさがあります。そして、スクールバスっていう形を考えても、無駄がないという風に考えています。で、もう1つは、八千代一中は、ある程度八千代の真ん中に位置していて、そこに市街化区域もある。ここは世帯数が増えていて人口が唯一増えている。行政としても都市機能を持たせるには、ここしかないはずですから、それを今取り組んでいる中で、子育て住宅もまもなく着工する状況の中で、スクールバスを使わなくても通えるなどメリットもあるわけです。

学校跡地には勤労者住宅や技術系の専門学校、不登校の方が行くようなフリースクール、あるいは企業が使うような話もあろうあるかもしれません。もう1つ考えているのは、今、行政区に公民館が1つありますよね。どこの行政区もある。だけど、それがこれから必要なのかと。そういう集会の場っていうのは、1行政区に1つ必要なのかと。その場合に学校を有効に使うことも考えられる。色々使い道は検討すべきところがあると思います。3年はあっという間に過ぎてしまいますので、どういう方を準備会の委員に迎えるか、そこあたりから結構こう悩ましいところになります。

まとめますと、施設への行政の投資。これについて、あまりにも中央集中になると、周辺部の皆さんがやっぱり感情的には面白くない。感情を和らげるように小学校が使えるようになればいいのではないかと。

いつも教育長と話しているのは、「八千代の教育レベルが高い、素晴らしい。」やはり、どうしても私はそこにこだわりたいという思いがあるんです。子どもたちが勉強もできるし、部活にもいいと、そういう場所にしなきゃならない。それを施策の中に入れていきたいと思っています。検討委員さんの話し合いの中身を

読ませてもらいまして、だいぶいろんな意見が出て、ご苦労されたなということ、本当に感謝しています。まずは町民の皆さんに、私たちの思いを伝えてですね、後押ししていただけるように持っていきたい。

もう1つ、プールの件があるのですが、B & Gのプールを移転することについては問題がないと。例えばいったんは移転のために廃止しますが、またすぐ建てますのでその時は協力してくださいみたいな一筆入れるような形であればB & Gとの付き合いは続くでしょうと。しかし、宛先もなく、プールを壊すってことになると、その段階でB & Gと八千代町の付き合いは無くなる。そういう話なんですよね。これは仕方がないと思います。次に作るプールは、子どもたちの教育と、社会人が使えるというような施設にしたいと思っておりまして、プールも学校の側がいいなという風に最初考えていたんですが、学校の側だと、夜とか一般の人が使う、社会人の人が使うとなると敷地の中だとまずいんだなというわけなんですよね。しっかり選定して対応とっていききたいと思います。

川西小学校がなくなるのは寂しいとの話を聞くと私もそう思うわけでありまして。しかし、町の将来を考えて、八千代町という町の存在っていうものを、考えていくにあたり、これを避けて通れない。人口減少を止める仕事は積極的に行いますが、どのような結果になるか、とても難しいと思います。ただ、明らかに昨年、一昨年と80人しか子どもが生まれていませんので、それが現実だと受け止めるしかないです。

谷中教育委員

中学校が一緒になるのは3年後なんですけど、それまでには基本構想作らなければならぬ。一貫校としての総合的な枠組みも作っとかないといけない。小学校統合が中学校統合から3年後になるとしても1つの大きな組織として、統合校の構想はきちんと立てて中学校のスタートができないといけない。小学校のことも頭に入れながらも、3年後を目安にその大きな枠組みについては構想を立てていく必要があると思う。

関教育長

ハード面については、内部と検討して早め早めにやっていこうと話している。ソフト面に関しては、次年度から校長会、教頭会等の先生方も巻き込みながら、進めていけるように主導主事や学校教育の担当とやっています。

谷中教育委員

幸いなこと先行している地区が近くにあり、つくば市は一貫校の中心だって本人が言っているぐらい全国でも先行地区なので、いろんな形態を取っているのを参考にしてもいいですね。

染野教育委員

今ちょうど公共施設の建て替えの検討が始まって公民館を優先でやっていますが、3年後には東中が空き校舎になる。まだ10年も経ってない校舎で、調理室なんかもある。東中の活用と公民館の規模を関連して検討する必要がある。

谷中教育委員

例えば中央公民館の機能の一部を東中に移転させる。要するに、社会教育の生涯学習の部分。生涯学習の講座などで活用する。東中を八千代の生涯学習の場として整備する。そうすると、現在の中央公民館はホールなどの機能をメインコンパクトなものにできる。

野村町長

例えば、東中学校の敷地と旧中山邸と合わせて、生涯学習ゾーンにすると。役場付近の公民館は、すり鉢状のホールで、イベントや発表会、研究会なんかに使うって形もある。私は副町長と、あんまり複合施設にはしたくないと話しています。

今度4月から公共施設専任の組織を新たに立ち上げることにしました。3ついっぺんに進めていることになるので。

谷中教育委員

常時、町民の方に使っていただける施設になるようにして欲しい。ハザードマップ上では避難場所としては難があるんですが、垂直避難っていう考え方もあるし、拠点としてね、公共施設を温存しておくのは大事なことだと思うんですね。

話は戻りますが、プールも今度は学校1校ですからね。それを考えると、新たにプールを学校のために作るなんてことしないで、学校から通える範囲のところに作って共用できるようにすれば効率的ですよ。プールはどうしてもランニングコストが悪い。集約してね、学校プラス地域で同時使って行けるようにして欲しい。

野村町長

まず中学校の統合を成功させて、後の小学校の方に影響しないようにしたい。今回説明してもらったこの方針を決定して進めていくという形でよろしいでしょうか。

教育委員全員

よろしくお願いします。

野村町長

ありがとうございます。今後についても、また意見を聞きながら進めてやらせていただければという風に考えております。